

災害に備える

災害への“備え”は、日ごろからしておくことが必要です。消防団や自主防災組織による啓発や訓練などの地域ぐるみの防災活動はもちろん大切ですが、各家庭の“備え”も欠かすことはできません。災害による被害を最小限にするために、各家庭ではどのように“備え”ればよいのでしょうか？

普段の備え

- ◇屋根、外壁、窓ガラス、塀などを点検し、不備な箇所を補修しましょう
- ◇河川は氾濫の原因となるので、川に雪を捨てないようにしましょう

- ◇避難場所や、近所の危険個所を確認しましょう
- ◇非常持ち出し品を準備しましょう
- ◇家族との連絡方法を確認しましょう

- ◇家具などが倒れないように、金具などでしっかり固定しておきましょう
- ◇家の中に、家具が倒れても安全な空間を確保しましょう

災害発生

- ◇風で飛ばされる危険の高いものは、室内に取り込むか固定しましょう
- ◇河川の近くに住んでいる人は、水かさには注意しましょう

- ◇ラジオ・テレビなどの災害情報をよく聞きましょう
- ◇家族で避難場所・コースを再確認しましょう

- 家の中にいるとき
- ◇まずは、頑丈なテーブルの下などに隠れて身を守りましょう
 - ◇ガス器具やストーブの火を消しましょう
 - ◇玄関や窓などを開けて、出口を確保しましょう

- 外出しているとき
- ◇窓ガラスや看板などの落下物に注意しましょう
 - ◇塀や商品陳列棚などの倒れやすい物から離れて安全を確保しましょう
 - ◇建物や地下街の中で、慌てて出口や階段に殺到しないようにしましょう

<< 避難の心得 >>

- ◇避難の勧告には、速やかに従いましょう
- ◇ヘルメットや防災頭巾などで頭部を保護しましょう
(外出中の場合は、かばんなどで保護しましょう)
- ◇救急救助活動などの妨げになるので、自動車は使わず、徒歩で避難しましょう
- ◇ガスの元栓は閉め、電気のブレーカーを切りましょう
- ◇隣近所の人たちと声を掛け合って、助け合いながら集団で避難しましょう
- ◇デマやうわさに惑わされず、落ち着いて行動しましょう

風水害に備えて



地震に備えて

